※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　国　　語　　科

教科	国語	科目	文学国語 （総合学科：言語社会系列）	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	「文学国語」（数研出版）						
副教材等	「新版七訂　新訂国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単語や文法などの知識だけでなく、多様な文章に触れることで読解力をつけていきます。
また、読解したことをもとに話し合い、鑑賞文を書いたり発表したりします。周りの人と協働して表現力を身につけます。
積極的に授業に参加し、自分の意見を伝えるとともに、他者の意見も聴いて考えを深め、広げていくことが目標です。
漢字や語彙に関するテストを中心に、小テストを行います。積み重ねが大切です。継続して取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深める。
(2)共感力や想像力を伸ばし、創造的に考える力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。
(3)言葉が持つ価値を認識し、読書に親しんで自己を向上させる。言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を読むために必要な語彙を身につけている。また、文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。当代の文化や歴史的背景など、読解するのに必要な知識を身に着けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、知識を活用し論理的に考えている。共感、想像し、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。またその思いや考えを他者に適切に伝えることができる。	言葉を通して積極的に知識や思考を深めたり広げたりしようとしている。意欲・関心をもって読書や言語表現に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	文学の扉 [教材] 山月記	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	平成の小説 [教材] 無用の人	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:語り手の視点や場面設定の仕方、表現の特色についての評価を通して、内容を解釈している。 c:「無用の人」という題名の意味について粘り強く考察し、学習成果を生かして考えようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	詩歌 [教材] 永訣の朝	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえて作品の解釈を深めている。 c:宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを考察し、これまでの学習を生かして話し合っている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
2	昭和初期の小説 [教材] 水仙	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:「水仙の絵」を引き裂いた理由を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして文章にまとめている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	大正の小説 [教材] こころ	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:語り手の視点や場面設定の仕方、表現の特色についての評価を通して、内容を解釈している。 c:作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	詩歌 [教材] 短歌・俳句	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]:文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c:粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。積極的に創作に取り組もうとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物 確認テスト
3	文学評論 [教材] 文学のふるさと	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する見方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※　年間の各領域時間数　　・話すこと／聞くこと　…　(　4　)時間

・書くこと　…　(　16　)時間

・読むこと　…　(　50　)時間